MIZUHO

整形用手術台

ユーザーメンテナンスマニュアル

特定保守管理医療機器　一般医療機器　汎用電動式手術台

MOS-1302B

販売名：牽引手術台 MOS-1302B
製造販売届出番号：13B1X00306N10280

安全に長くお使いいただくために
手術台の操作、点検、保守を行う者は必ず事前に注意事項等情報、取扱説明書および本書を読んで内容を十分に理解してください。本書は、手術台に関わる者の参考のために適切な収納場所に保管して、必要なときに読めるようにしてください。
日常点検とユーザー点検について
• 本書には、手術台を安全に使用するためにユーザーが行う日常点検とユーザー点検の内容が収録されています。手術台を安全に運用できるよう、点検は必ず実施してください。 • 添付の日常点検表、ユーザー点検表をコピーしてお使いいただき、点検の履歴管理をすることをお勧めいたします。
本書について
• 手術台の操作方法等は手術台の取扱説明書を参照してください。 • 本書で使用されている手術台等のイラストはすべてイメージによるものです。 • 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

MES-CK18-UMM-30　Ver.1　2025-10-01

目次

1. 安全について 1

1.1 警告表示の記載について 1
1.2 安全上の注意 1

2. 点検・保守 3

2.1 点検・保守の計画について 3
2.2 点検の前に 4
2.3 日常点検一覧 5
2.4 ユーザー点検一覧 6

3. 日常点検 7

3.1 マットレスの点検 7
3.2 テーブルの点検 8
3.3 テーブルトップの点検 8
3.4 油漏れの点検 9
3.5 電源コード・プラグの点検 9
3.6 バッテリー残量の点検 10
3.7 操作ボックスの点検 11
3.8 緊急停止スイッチの点検 12
3.9 予備スイッチの点検 13

4. ユーザー点検 14

4.1 頭部板の点検 14
4.2 脚板の点検 16
4.3 腰板の点検 18
4.4 テーブルトップの点検 20
4.5 サイドレールの点検 20
4.6 ベースカバー／コラムカバーの点検 21
4.7 キャスターの点検 21
4.8 ブレーキゴム／ブレーキシリンダーの点検 22
4.9 電源スイッチの点検 23
4.10 牽引装置の点検 24

5. 修理を依頼する 26

1. 安全について

1.1 警告表示の記載について

本書の警告および注意内容、または手術台に貼り付けた警告および注意内容を理解していただくため、安全のための情報を以下のように使い分けています。

警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

1.2 安全上の注意

点検・保守を実施するあたって、以下の警告・注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

警 告

●テーブルトップ

- 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないでください。転倒、けがのおそれがあります。
- テーブルトップの上に物を置かないでください。手術台の作動時に落下し、けがをするおそれや、器物を破損するおそれがあります。

●電源コード・プラグ

- 濡れた手で電源コードおよびプラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

●分解・改造の禁止

- 手術台を分解または改造しないでください。故障の原因になります。

●保守点検

- 日常点検およびユーザー点検は必ず実施してください。使用期間または使用頻度によっては、部品の著しい消耗・劣化・破損等により、該当部品の交換が必要な場合があります。
- 点検により異常が認められた場合、手術台の使用を直ちに中止してください。「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をし、手術台が使用されることがないよう周囲に通達してください。
- 修理は弊社および弊社が認めた業者が行います。必ずご購入店または弊社に修理を依頼してください。
- 感染防止のため、修理を依頼するときは必ず手術台の清掃および消毒をしてください。
- 点検を実施しても、すべての不良、故障等を未然に発見できる保証はありません。手術台の使用時にも異常の発生等に注意してください。

●点検作業時の注意

- 非常用ブレーキ解除ハンドルが「LOCK」の状態であることを確認してから、作業を行ってください。「UNLOCK」の状態で作業すると、不意に手術台が動き、転倒、転落などの事故を引き起こすおそれがあります。
- 手術台の作動中、作動域に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

●テーブルトップ

- 下降および縦転を作動するときは、脚板下の機器等の有無を確認してください。
  脚板が機器等に接触して無理な力が加わると、手術台が破損するおそれがあります。
- テーブルトップが最低位付近にあるとき、縦転、横転などの作動を行うと、テーブルトップがベースまたは床に接触して破損するおそれがあります。必ず目視でも確認してください。

●操作ボックス

- 操作ボックスのコードを無理に引っ張らないでください。
- 操作ボックスに強い衝撃を与えないでください。破損するおそれがあります。

●ベース部分

- ベースの上に物を置かないでください。物がはさまり、手術台が損傷するおそれがあります。

2. 点検・保守

2.1 点検・保守の計画について

■ 点検の実施計画

点検は定められた頻度で必ず実施してください。

点検のレベル	頻度	施行者
日常点検	毎日	機器使用者
ユーザー点検	3 カ月ごと	機器管理者
定期点検	1 年ごと	ご購入店、弊社

定期点検は、弊社および弊社が認めた業者が実施します。それ以外の業者による保守・点検は有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。
定期点検を希望される場合は、ご購入店または弊社にお問い合わせください。

■ 保守（修理、交換）の実施計画

安全に使用していただくために、弊社では定期的な部品交換の時期を設定しております。
交換時期は目安です。使用の状況または使用頻度によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。
下記の交換時期を参照し、保守計画を決定、実施してください。

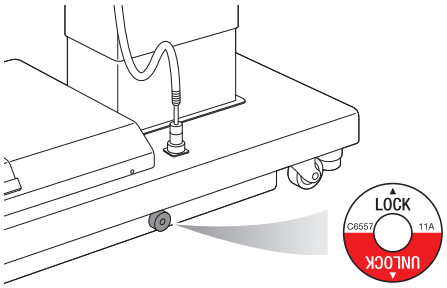
保守内容	交換時期	施行者
操作ボックスの交換	4 ～ 6 年	機器管理者
電源コードの交換	5 ～ 7 年	
バッテリーの交換	2 年	ご購入店、弊社
ブレーキゴムの交換	3 ～ 5 年	
キャスターの交換	5 ～ 7 年	

2.2 点検の前に

警 告

非常用ブレーキ解除ハンドルが「LOCK」の状態であることを確認してから、作業を行ってください。「UNLOCK」の状態で作業すると、不意に手術台が動き、転倒、転落などの事故を引き起こすおそれがあります。

▶ LOCK

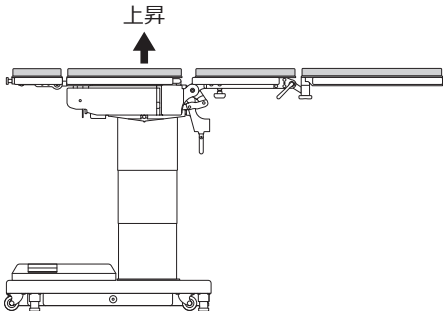


1. 非常用ブレーキ解除ハンドルのラベル表示を確認します。

✓	• 「LOCK」が上側中央（正常位置）になっていますか。 • ラベルは剥がれていませんか。

OK	下記のポジション確認に進んでください。
NG	非常用ブレーキ解除ハンドルを反時計方向（左回り）に回して、「LOCK」を上側中央の正常位置に合わせてください。 ラベルが剥がれている場合は、貼り替えが必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ ポジション確認



■ 点検時の手術台の基本ポジション

1. 手術台アクセサリーが取り付けてある場合は、取り外します。
2. 操作ボックスの E を押してから T を押し、手術台を固定します。
3. テーブルトップを水平にし、最高位に上昇させます。

OK	日常点検またはユーザー点検に進んでください。

2.3　日常点検一覧

■ 日常点検一覧（毎日の点検）

日常点検の詳細については、3 章を確認してください。

点検項目	MOS-1302B
3.1　マットレスの点検	
▶マットレスの破損、劣化	○
▶マットレスの固定	○
3.2　テーブルの点検	
▶テーブルトップのガタ	○
3.3　テーブルトップの点検	
▶テーブルトップの破損	○
3.4　油漏れの点検	
▶油漏れ	○
3.5　電源コード・プラグの点検	
▶電源コードの破損、ピンの折れ	○
3.6　バッテリー残量の点検	
▶バッテリー残量	○
3.7　操作ボックスの点検	
▶破損、劣化	○
▶正常作動	○
3.8　緊急停止スイッチの点検	
▶作動の緊急停止	○
▶緊急停止の解除	○
3.9　予備スイッチの点検	
▶予備スイッチの作動	○

2.4　ユーザー点検一覧

■ ユーザー点検一覧（3 カ月ごとの点検）

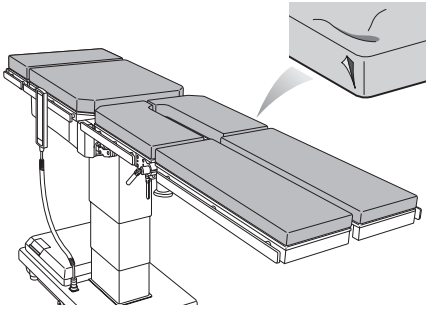
ユーザー点検の詳細については、4 章を確認してください。

点検項目	MOS-1302B
4.1　頭部板の点検	
▶頭部板の屈折	○
▶頭部板の着脱、固定	○
4.2　脚板の点検	
▶脚板の屈折	○
▶脚板の展開	○
▶脚板の着脱	○
4.3　腰板の点検	
▶腰板の屈折	○
▶腰板の着脱	○
4.4　テーブルトップの点検	
▶テーブルトップのゆるみ	○
4.5　サイドレールの点検	
▶サイドレールのゆるみ	○
4.6　ベースカバー／コラムカバーの点検	
▶カバーの変形	○
4.7　キャスターの点検	
▶破損、回転	○
▶移動	○
4.8　ブレーキゴム／ブレーキシリンダーの点検	
▶つぶれ、破損、油漏れ	○
▶ブレーキ解除、手術台固定	○
4.9　電源スイッチの点検	
▶電源 ON/OFF	○
4.10　牽引装置の点検	
▶下肢牽引用カートの確認	○
▶手術台高さの確認	○
▶差込軸高さの確認	○
▶差込軸の固定	○
▶アームの屈折、伸縮	○

3. 日常点検

3.1 マットレスの点検

▶ マットレスの破損、劣化



1. マットレス全体を目視で確認します。

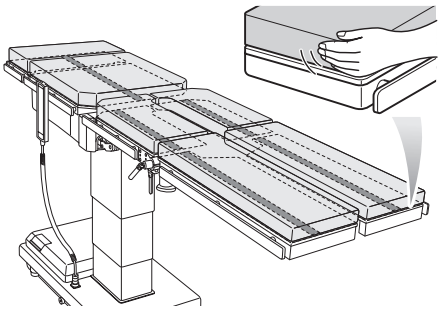
   各マットレスの状態を確認してください。

✓	• 破れている箇所や、くぼみなどの劣化は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	マットレスの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

補足 患者の安全および清潔保持のため、破損や劣化のみられるマットレスは使用しないでください。

▶ マットレスの固定



1. マットレスの端を持って動かし、固定の状態を確認します。

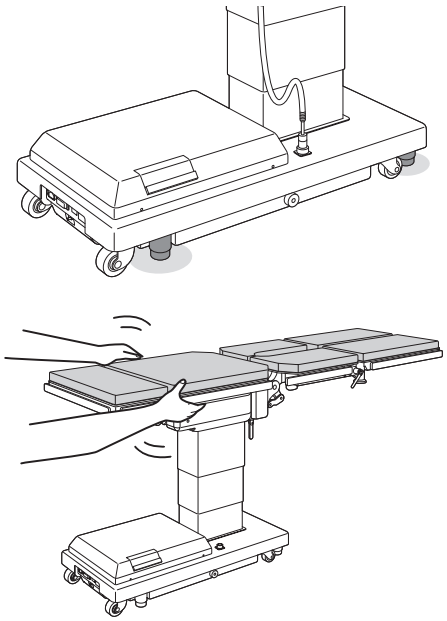
   各マットレスの状態を確認してください。

✓	• しっかり固定されていますか。マットレスがずれませんか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	面ファスナーまたはマットレスの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.2　テーブルの点検

▶ テーブルトップのガタ



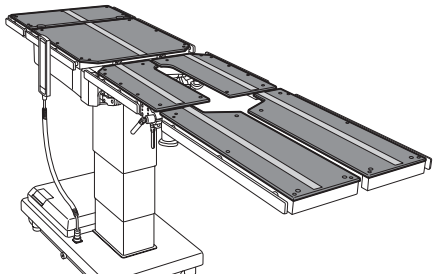
1. 手術台が固定されていることを確認します。
2. 背板の両側を持って上下左右に揺さぶります。

✓	• ガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	ブレーキゴムの点検を実施してください。 (⇒ P.22) ブレーキゴムに異常がない場合は、ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.3　テーブルトップの点検

▶ テーブルトップの破損



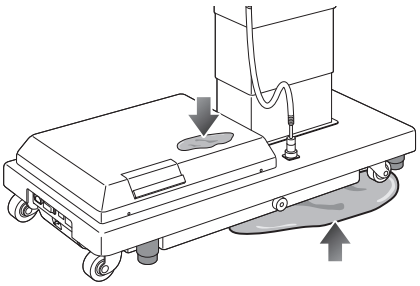
1. マットレスをすべて取り外します。
2. テーブルトップを目視で確認します。
   各テーブルトップの状態を確認してください。

✓	• テーブルトップに破損は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	テーブルトップの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.4　油漏れの点検

▶ 油漏れ



1. ベースや床面を目視で確認します。

✓	• 床またはベース表面に作動油の付着は無いですか。

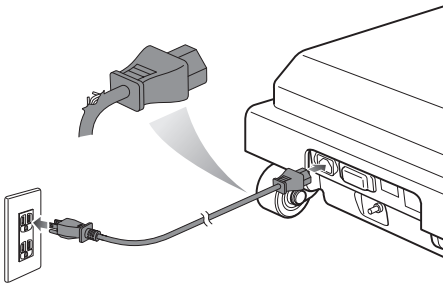
OK	次の点検に進んでください。
NG	油圧システムの点検や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.5　電源コード・プラグの点検

警　告

濡れた手で電源コードおよびプラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

▶ 電源コードの破損、ピンの折れ



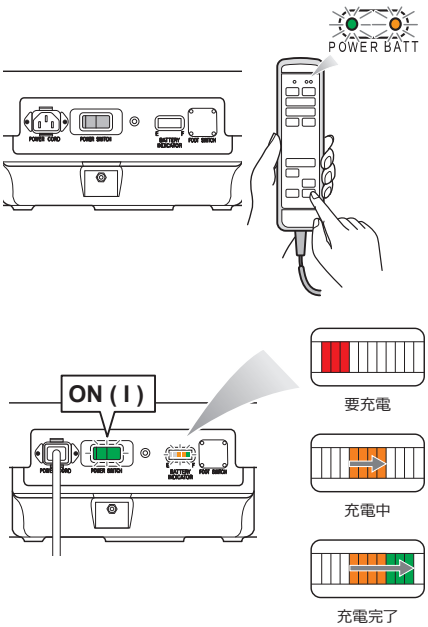
1. 電源コード、プラグのピンを目視で確認します。

✓	• 電源コードに破損は無いですか。 • プラグのピンに折損は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	電源コードの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.6　バッテリー残量の点検

▶ バッテリー残量



1. 電源コードを抜いた状態で、操作ボックスの ON/OFF を押します。

✓	• 操作ボックスのパワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）は点灯しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	バッテリーランプ（橙）が点滅したら、充電が必要です。手順 2 を行って、バッテリーを充電してください。

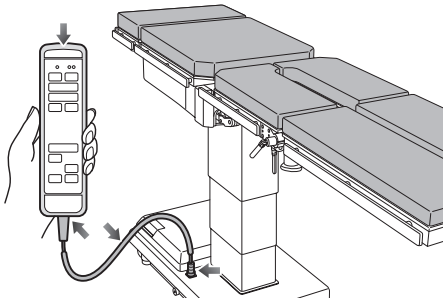
2. 電源コードを接続し、電源スイッチを ON にします。

充電中はバッテリーインジケータの橙が順に点灯します。橙と緑が順に点灯すると充電は完了です。

補足　充電を実施してもバッテリー残量不足がすぐに発生する場合は、バッテリーの交換が必要です。ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.7　操作ボックスの点検

▶ 破損、劣化

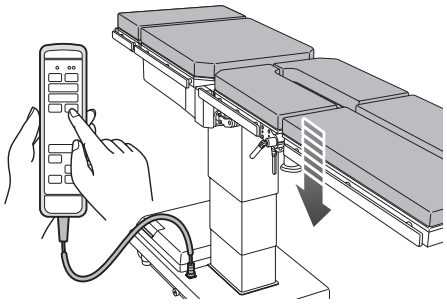


1. 操作ボックスのパネル、コード、コネクタを目視で確認します。

✓	• 操作ボックスに破損や劣化は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	操作ボックスの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 正常作動



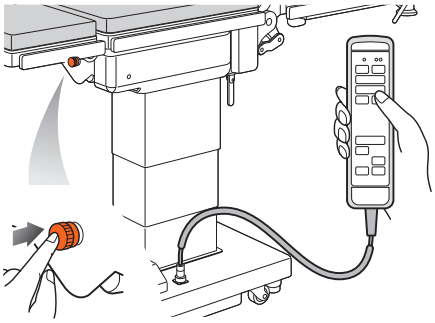
1. 操作ボックスの ON/OFF を押します。
2. 操作ボックスの機能スイッチをひとつずつ操作して手術台を作動させます。

✓	• 操作ボックスのパワーランプは点灯しますか。 • 手術台は正常に作動しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	点検や修理、交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.8 緊急停止スイッチの点検

▶ 作動の緊急停止



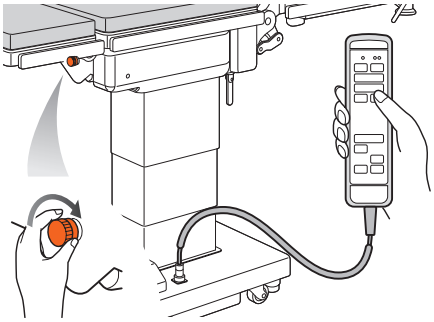
1. 操作ボックスで昇降などの作動をさせながら緊急停止スイッチを押します。

   緊急停止スイッチを押したら、操作ボックスの操作を止めてください。

✓	• ブザーが鳴り、手術台の作動はすぐに停止しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	点検や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 緊急停止の解除



1. 緊急停止スイッチを回して解除します。
2. 操作ボックスで手術台を作動させます。

✓	• ブザーは鳴り止みますか。手術台は作動しますか。

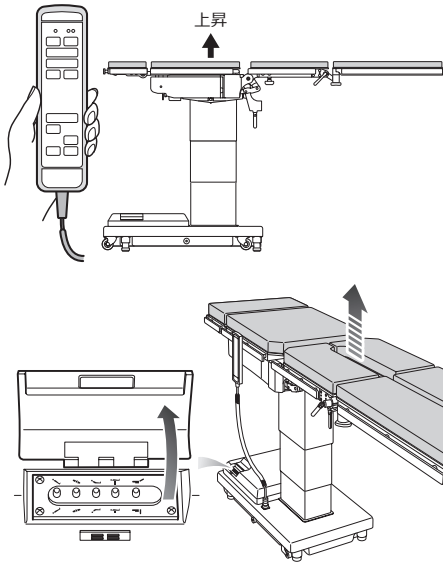
OK	次の点検に進んでください。
NG	点検や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

3.9　予備スイッチの点検

注 意

- 予備スイッチを操作するときは、常に手術台の動きを監視してください。予備スイッチは作動制限機能が働かないため、他の部品に接触するおそれがあります。
- 他の部品と接触したときは、直ちに操作を中止してください。破損の原因になります。

▶ 予備スイッチの作動



1. テーブルトップを水平にし、最高位に上昇させます。
2. 予備スイッチをひとつずつ操作して手術台を作動させます。

   予備スイッチはスイッチを押している間作動します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

✓	• 手術台は正常に作動しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	点検や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

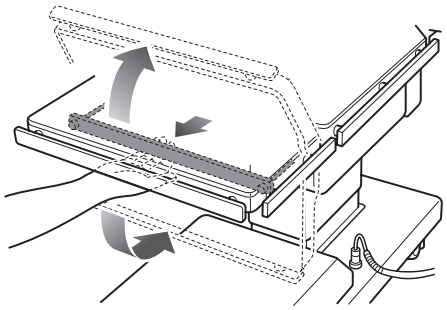
4. ユーザー点検

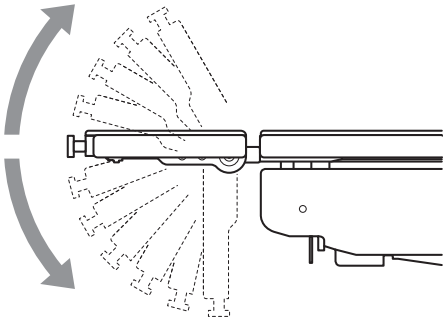
4.1 頭部板の点検

警 告

頭部板の取扱いに注意してください。落下して破損・けがをするおそれがあります。

▶ 頭部板の屈折





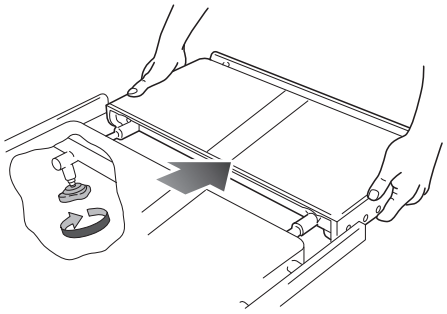
1. マットレスを取り外します。
2. 頭部板屈折レバーを引いて、頭部板を屈折させます。
3. 段ごと（全 11 段）に頭部板を固定します。

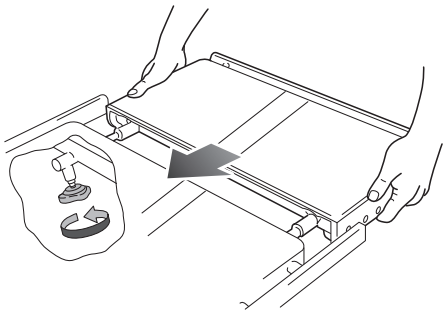
✓	• 段ごとに固定できますか。 • 頭部板屈折レバーにガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	頭部板屈折レバーの調整が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

補足 頭部板は 15 度ごとに、上に 4 段（最大 60 度）、下に 6 段（最大 90 度）屈折します。

▶ 頭部板の着脱、固定





1. 頭部板固定ハンドルをゆるめて、頭部板を取り外します。
2. 頭部板を取り付けて、頭部板固定ハンドルで固定します。

✓	• 頭部板の着脱は、引っ掛かりなくスムーズにできますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	着脱部の修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

✓	• 固定したあと、ガタツキは無いですか。

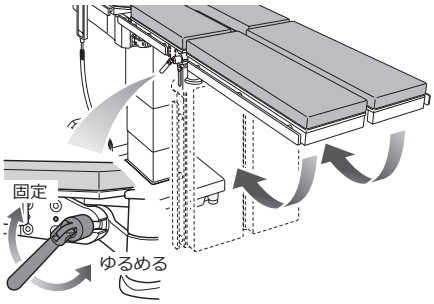
OK	次の点検に進んでください。
NG	頭部板固定ハンドルの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

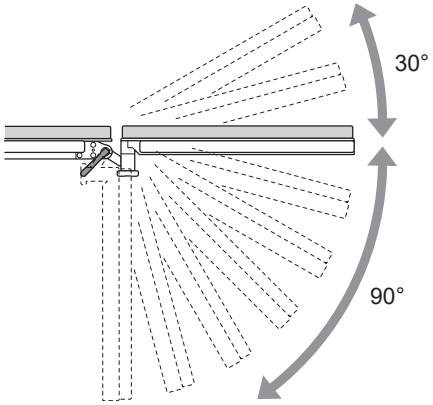
4.2 脚板の点検

警 告

脚板の取扱いに注意してください。落下して破損・けがをするおそれがあります。

▶ 脚板の屈折





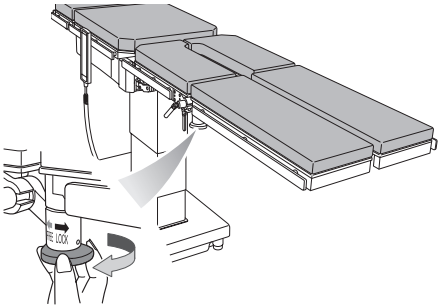
1. 脚板の先端を持ち、脚板屈折ハンドルをゆるめます。
2. 脚板を下または上に屈折させます。
3. 段ごと（全 9 段）に脚板を固定します。

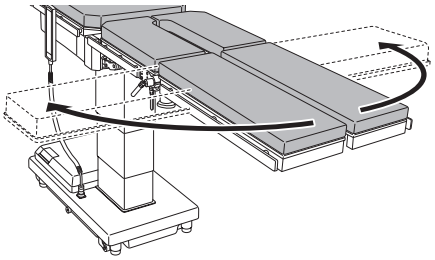
✓	• 段ごとに固定できますか。 • ガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	脚板屈折ハンドルの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

補足 脚板は 15 度ごとに、下に 6 段（最大 90 度）、上に 2 段（最大 30 度）屈折します。

▶ 脚板の展開





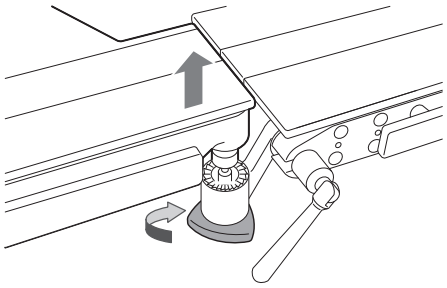
1. 脚板先端を持ち、脚板固定ハンドルをゆるめます。
2. 脚板を外側に開きます。
3. 設定する位置で脚板固定ハンドルを回して固定します。

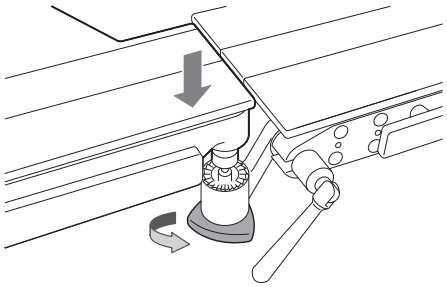
✓	• 脚板は外側に開きますか。 • 設定する位置で脚板は固定できますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	脚板固定ハンドルの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

補足 脚板は外側に最大 90 度展開します。

▶ 脚板の着脱（脚板固定ハンドル）





1. 脚板先端を持ち、脚板固定ハンドルをゆるめます。
2. 脚板を両手で持って真っ直ぐに引き上げます。
3. 脚板差込軸を脚板クラッチに合わせて差し込みます。
4. 脚板先端を持ち、脚板固定ハンドルを回して固定します。

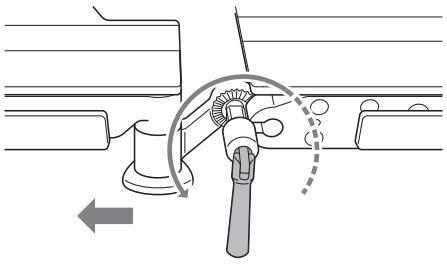
✓	• 脚板の着脱は、引っ掛かりなくスムーズにできますか。

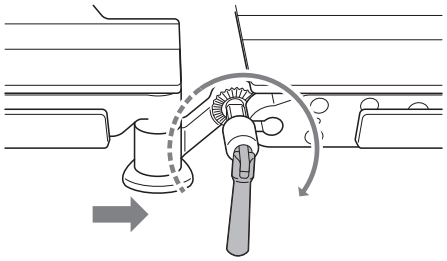
OK	次の点検に進んでください。
NG	着脱部の修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

✓	• 固定したあと、ガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	脚板固定ハンドルまたは脚板クラッチの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 脚板の着脱（脚板屈折ハンドル）





1. 脚板先端を持ち、脚板屈折ハンドルをゆるめます。
2. 脚板を両手で持って真っ直ぐに引き出します。
3. 腰板のクラッチ溝と脚板屈折ハンドルの軸を合わせて脚板を真っ直ぐに差し込みます。
4. 脚板先端を持ち、脚板屈折ハンドルを回して固定します。

✓	• 脚板の着脱は、引っ掛かりなくスムーズにできますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	着脱部の修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

✓	• 固定したあと、ガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	脚板屈折ハンドルまたは脚板クラッチの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.3　腰板の点検

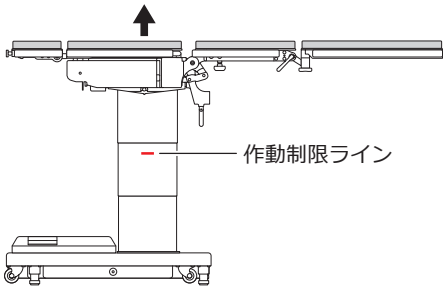
警　告

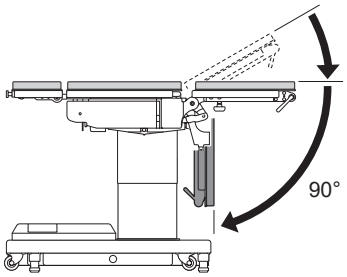
- 腰板の取扱いに注意してください。落下して破損・けがをするおそれがあります。
- 脚板を装着した状態で腰板を取り外さないでください。落下して破損・けがをするおそれがあります。

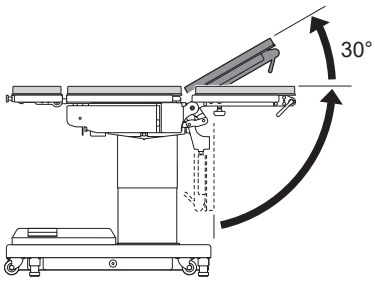
注　意

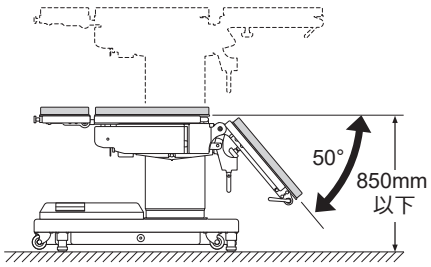
脚板を装着した状態で腰板を作動させないでください。破損するおそれがあります。

▶ 腰板の屈折









1. テーブルトップの高さを 850mm（作動制限ラインの位置）を超える高さにします。

   作動制限ライン（赤い目印線）が見える位置までテーブルトップを上げてください。

2. 脚板を取り外します。

3. 腰板を下方向に屈折させます。

   下方向に 90 度屈折できます。
   腰板を下方向に屈折させると、操作ボックスによる水平復帰は働きません。

4. 腰板を上方向に屈折させます。

   上方向に 30 度屈折できます。

5. 腰板を水平位置に戻し、テーブルトップの高さを 850mm（作動制限ラインの位置）以下にします。

   作動制限ライン（赤い目印線）が隠れる位置までテーブルトップを下げてください。

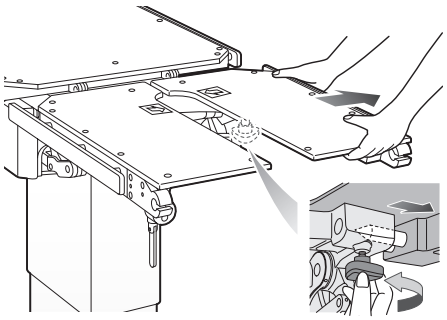
6. 腰板を下方向に屈折させます。

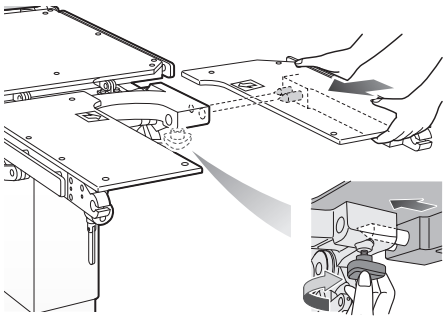
   テーブルトップの高さが 850mm 以下の場合、腰板の屈折（下方向）は 50 度で止まります。
   腰板を下方向に屈折させると、操作ボックスによる水平復帰は働きません。

✓	
	• 腰板はスムーズに作動しますか。 • テーブルトップの高さが 850mm 超のとき、腰板は下方向に 90 度まで屈折しますか。 • テーブルトップの高さが 850mm 以下のとき、腰板の屈折（下方向）は 50 度で止まりますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	点検や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 腰板の着脱





1. 腰板固定ハンドルをゆるめて、腰板を取り外します。
2. 腰板を取り付けて、腰板固定ハンドルで固定します。

✓	• 腰板の着脱は、引っ掛かりなくスムーズにできますか。

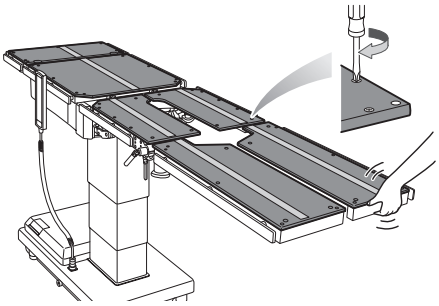
OK	次の点検に進んでください。
NG	着脱部の修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

✓	• 固定したあと、ガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	腰板固定ハンドルの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.4　テーブルトップの点検

▶ テーブルトップのゆるみ



1. マットレスをすべて取り外します。
2. テーブルトップの端を持って動かし、固定の状態を確認します。

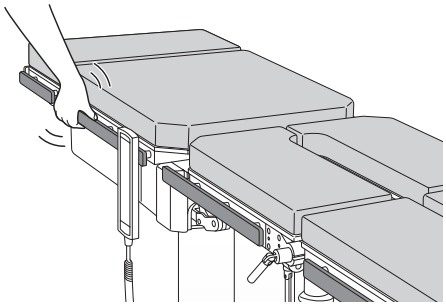
   各テーブルトップの状態を確認してください。

✓	• しっかり固定されていますか。テーブルトップにガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	テーブルトップの固定がゆるんでいる場合は、固定ねじをドライバーで締めてください。 固定ねじを締めても状態が改善しない場合は、ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.5　サイドレールの点検

▶ サイドレールのゆるみ



1. サイドレールを持って動かし、固定の状態を確認します。

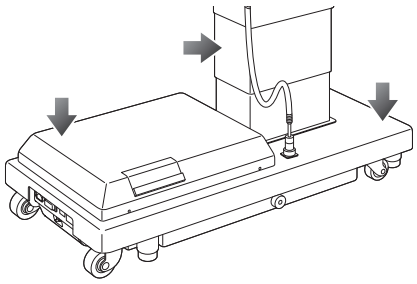
   各サイドレールの状態を確認してください。

✓	• しっかり固定されていますか。サイドレールにガタツキは無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	サイドレールの調整が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.6　ベースカバー／コラムカバーの点検

▶ カバーの変形



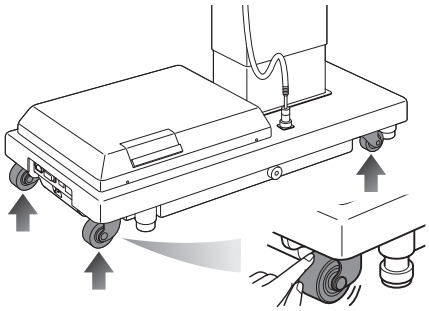
1. ベースカバーとコラムカバーを目視で確認します。

✓	• カバーに変形は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	カバーの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.7　キャスターの点検

▶ 破損、回転

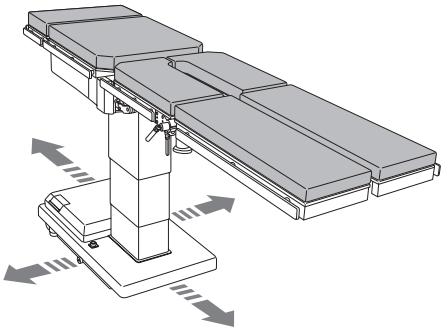


1. キャスターを目視で確認します。
2. キャスターを手で回して回転させます。

✓	• キャスターに破損は無いですか。 • キャスターはスムーズに回転しますか。 • キャスターに付着物は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	キャスターの調整や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 移動



1. 操作ボックスの E を押してから 移動 を押し、ブレーキを解除します。
2. 手術台を前後左右に移動させます。

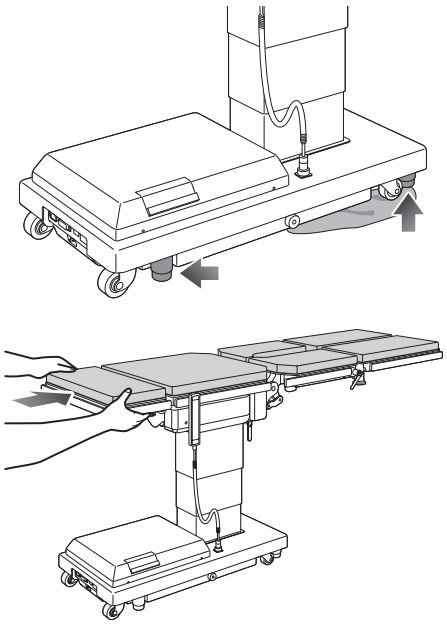
   確認が終わったら手術台を元の位置に戻し、操作ボックスの E を押してから を押し、手術台を固定してください。

✓	• 手術台はスムーズに移動しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	キャスターの調整や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.8　ブレーキゴム／ブレーキシリンダーの点検

▶ つぶれ、破損、油漏れ

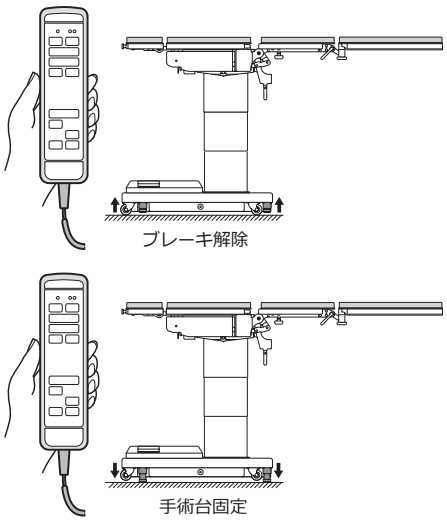


1. ブレーキゴムとブレーキシリンダーを目視で確認します。
2. 手術台全体を手で押します。

✓	• ブレーキゴムにつぶれや破損は無いですか。 • ブレーキシリンダーからの油漏れは無いですか。 • 手術台を押しても動かず、固定されていますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	ブレーキゴムまたはブレーキシリンダーの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ ブレーキ解除、手術台固定



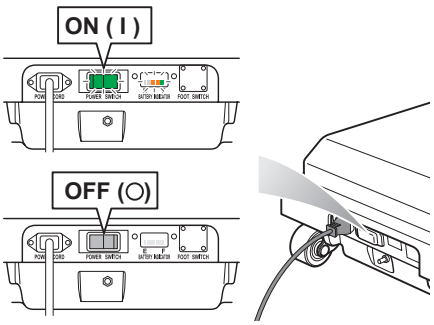
1. 操作ボックスの E を押してから 移動 を押し、ブレーキを解除します。
2. 操作ボックスの E を押してから T を押し、手術台を固定します。

✓	• ブレーキは解除できますか。 • 手術台は固定できますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	ブレーキシリンダーの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.9　電源スイッチの点検

▶ 電源 ON/OFF



1. 電源コードを接続します。
2. 電源スイッチを ON にします。
3. 電源スイッチを OFF にします。

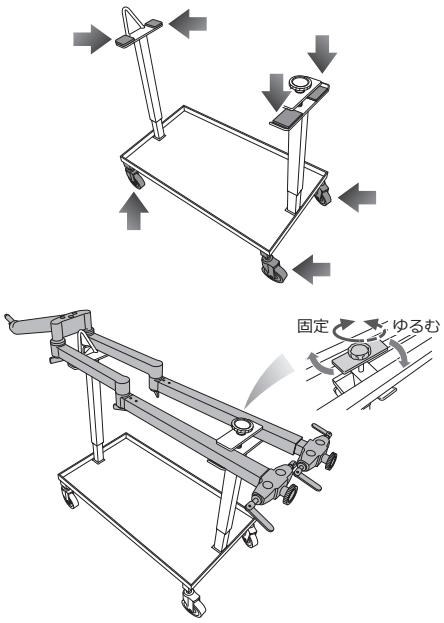
✓	• ON にしたとき電源スイッチは点灯（緑）しますか。 • バッテリーインジケータは点灯しますか。 • OFF にしたとき消灯しますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	電源スイッチが正常に作動しない場合は、修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

4.10　牽引装置の点検（※）

※本書の牽引装置とは、別販売品の下肢牽引用カートおよびアーム（牽引装置アーム・展開アーム）のことです。点検は必要に応じて行ってください。

▶ 下肢牽引用カートの確認



1. 搭載部のゴムを目視で確認します。
2. キャスターを目視で確認します。

✓	• ゴムに破損は無いですか。 • キャスターに破損は無いですか。

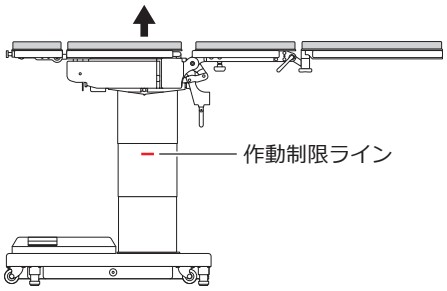
OK	次の点検に進んでください。
NG	ゴムおよびキャスターに破損がある場合は、下肢牽引用カートの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

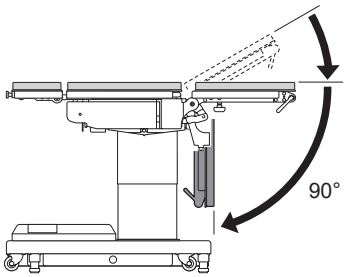
3. アームを下肢牽引用カートに載せます。
4. 下肢牽引用カートのハンドルを回して固定します。

✓	• アームは固定できますか。 • ハンドルに破損は無いですか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	固定できない場合、またはハンドルに破損がある場合は、ハンドルの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 手術台高さの確認





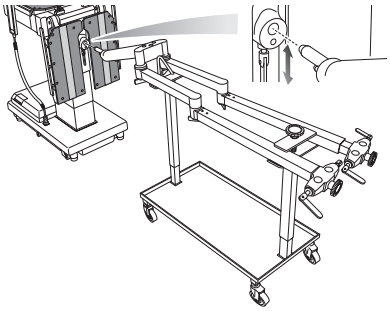
1. テーブルトップの高さを 850mm（作動制限ラインの位置）を超える高さにします。
2. 脚板を取り外します。
3. 腰板を下方向に 90 度屈折させます。
4. テーブルトップを下げて、高さ 850mm（作動制限ラインの位置）で停止することを確認します。

   停止した位置がアームを装着する高さです。

✓	• テーブルトップは、高さ 850mm（作動制限ラインの位置）で停止しましたか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	調整や修理が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 差込軸高さの確認

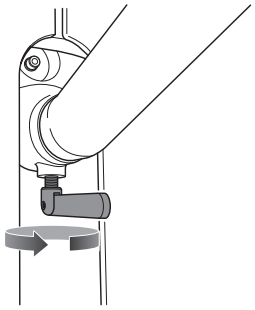


1. アームの差込軸を差込孔に差し込みます。

✓	• アームを手術台に差し込めますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	調整が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ 差込軸の固定



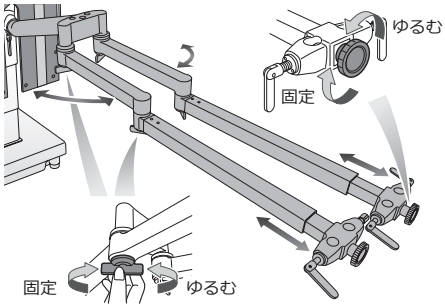
1. アーム固定ハンドルでアームを固定します。

   アームを持って動かし、固定の状態を確認します。

✓	• アームは固定できますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	アーム固定ハンドルの交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

▶ アームの屈折、伸縮



1. 下肢牽引用カートを移動します。

   下肢牽引用カートのハンドルをゆるめてから手術台を上昇させ、下肢牽引用カートを移動させてください。

2. アームの屈折ハンドルおよび固定ハンドルを操作して、任意の位置にセットします。

3. アームの伸縮ハンドルを操作して、アームを任意の長さに調整します。

✓	• アームは任意の位置に屈折・固定できますか。 • アームは最大・最小まで伸縮できますか。

OK	次の点検に進んでください。
NG	アームが屈折・固定できない場合は、屈折ハンドルまたは固定ハンドルの修理や交換が必要です。 アームが最大・最小まで伸縮できない場合は、アームの修理や交換が必要です。 ご購入店または弊社にご連絡ください。

5. 修理を依頼する

点検および保守を行った結果、手術台に異常がある場合は、取扱説明書の「修理を依頼する前に」を参照し、原因・対策を確認してください。
対策を行っても状態が改善されない場合は、ご購入店または弊社に修理を依頼してください。

警　告

- 修理は弊社および弊社が認めた業者が行います。必ずご購入店または弊社に修理を依頼してください。
- 分解しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 感染防止のため、修理を依頼するときは必ず手術台の清掃および消毒をしてください。

■ 修理依頼時の対応

1. 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外します。
2. 手術台本体に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の表示をします。
3. ご購入店または弊社に修理を依頼してください。

   修理を依頼する際は、下記をお知らせください。

   ・型名
   ・製造番号（製品のラベルを確認してください。）
   ・故障の状態

年　　月

日常点検表

整形用手術台

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
3.1	マットレスの点検															
3.2	テーブルの点検															
3.3	テーブルトップの点検															
3.4	油漏れの点検															
3.5	電源コード・プラグの点検															
3.6	バッテリー残量の点検															
3.7	操作ボックスの点検															
3.8	緊急停止スイッチの点検															
3.9	予備スイッチの点検															
	サイン															

		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3.1	マットレスの点検																
3.2	テーブルの点検																
3.3	テーブルトップの点検																
3.4	油漏れの点検																
3.5	電源コード・プラグの点検																
3.6	バッテリー残量の点検																
3.7	操作ボックスの点検																
3.8	緊急停止スイッチの点検																
3.9	予備スイッチの点検																
	サイン																

OP 室 No.	
型名	
製造番号	
管理者	

【記載方法】

1. 各点検を実施する
2. 各点検結果を、該当する日付の欄に記録する
3. 点検者の氏名をサインする

点検結果とマーク			
異常なし	✓	修理依頼	S
異常あり	●	部品購入	P

この日常点検表は、コピーして日々の点検に末永くご使用ください。

年　月～　年　月

ユーザー点検表

整形用手術台

		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
4.1	頭部板の点検																
4.2	脚板の点検																
4.3	腰板の点検																
4.4	テーブルトップの点検																
4.5	サイドレールの点検																
4.6	ベースカバー／コラムカバーの点検																
4.7	キャスターの点検																
4.8	ブレーキゴム／ブレーキシリンダーの点検																
4.9	電源スイッチの点検																
4.10	牽引装置の点検																
	サイン																

OP 室 No.	
型名	
製造番号	
管理者	

【記載方法】

1. 各点検を実施する
2. 各点検結果を、該当する日付の欄に記録する
3. 点検者の氏名をサインする

点検結果とマーク			
異常なし	✓	修理依頼	S
異常あり	●	部品購入	P

このユーザー点検表は、コピーして日々の点検に末永くご使用ください。

ミズホ株式会社

https://www.mizuho.co.jp

■**本社** 〒 113-0033　東京都文京区本郷 3-30-13

■**営業拠点**

北海道センター　〒 060-0807　札幌市北区北 7 条西 2-6 37 山京ビル 2F
TEL 011-716-4731　FAX 011-716-4803

東北センター　〒 980-0014　仙台市青葉区本町 1-11-2 SK 仙台ビル 2F
TEL 022-227-1688　FAX 022-227-1698

新潟センター　〒 951-8068　新潟市中央区上大川前通七番町 1230-7 ストークビル鏡橋 6F
TEL 025-229-5458　FAX 025-222-4684

北関東センター　〒 113-0033　東京都文京区本郷 3-30-13
TEL 03-3815-3193　FAX 03-3815-1280

東海センター　〒 464-0075　名古屋市千種区内山 3-17-4 スズシン第 2 ビル 3F
TEL 052-732-7130　FAX 052-732-7131

関西センター　〒 550-0004　大阪市西区靭本町 1-10-24 三共本町ビル 7F
TEL 06-6444-3840　FAX 06-6444-3860

中国センター　〒 730-0029　広島市中区三川町 7-7 三川町パーキングビル 13F
TEL 082-241-8826　FAX 082-241-8836

九州センター　〒 812-0013　福岡市博多区博多駅東 3-1-1 ZENNO 筑紫通ビル 5F
TEL 092-431-5022　FAX 092-474-4483

■**関東圏 販売網（東京都 、埼玉県 、千葉県 、神奈川県）**

ミズホアーバン株式会社　〒 113-0033　東京都文京区本郷 3-29-3
TEL 03-3811-0350　FAX 03-3811-1880

■**アフターサービスカスタマーセンター** 〒 285-0808　千葉県佐倉市太田 2173-13

訪問修理受付　TEL 043-481-3367　FAX 043-481-3374

預り修理受付　TEL 043-481-3368　FAX 043-481-3375

■**ミズホショールーム**　〒 285-0808　千葉県佐倉市太田 2173-13

○お問い合わせは営業担当までお願い致します。

■**工場**

千葉工場　〒 285-0808　千葉県佐倉市太田 2173-13

五泉工場　〒 959-1821　新潟県五泉市赤海 3631-14

2025 年 01 月 01 日現在